

登録番号 第 22901 号

ザクサ®液剤

- 特長：
- 非選択性茎葉処理型の除草剤で、植物の茎葉部（緑色部）に散布すると有効成分は速やかに植物体内へ浸透し、植物を枯殺します。
 - イネ科の雑草に対して優れた効果を示します。
 - 散布液が土壌表面に落下すると、有効成分は速やかに分解されます。

ザクサは三井化学クロップ&ライフソリューション(株)の登録商標です。

有効成分	グルホシネートP ナトリウム塩・・・11.5%	包装	500ml×20 2L×6 6L×3 10L×2 50L×1
その他化管法 該当成分	ポリ(オキシエチレン)＝ドデシルエーテル硫酸エステルナトリウム (化管法第1種)・・・6.5% ドデシル硫酸ナトリウム(化管法第1種)・・・5.2% ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル(アルキル基 C=12～15 の 及びその混合物に限る)(化管法第1種)・・・4.2%		
性状	青色澄明水溶性液体	有効年限	4 年
毒性	普通物※	危険物	指定可燃物 可燃性液体類

※普通物：「毒物及び劇物取締法」（厚生労働省）に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

【適用病害虫及び使用方法】

2025 年 9 月 10 日付内容

作物名	適用 場所	適用雑草名	使用時期	薬量	希釈水 量	本剤の 使用回 数	使用 方法	グルホシネート及びグ ルホシネートPを含む 農薬の総使用回数
果樹類 (かんきつ、 りんご、び わ、いちよ う(種子)、 くり、杓ヱ ルツ、食用桑 (果実)、さ んしょう (果実)を除 く)	－	一年生雑草	収穫前日まで (雑草生育期)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	3 回以内	雑草茎 葉散布	3 回以内
		多年生雑草		500～1000 ml/10a				
かんきつ	－	一年生雑草	収穫 21 日前まで (雑草生育期)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	3 回以内	雑草茎 葉散布	3 回以内
		多年生雑草		500～1000 ml/10a				
りんご	－	一年生雑草	収穫 21 日前まで (雑草生育期)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	3 回以内	雑草茎 葉散布	3 回以内
		多年生雑草		500～1000 ml/10a				

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	薬量	希釈水量	本剤の使用回数	使用方法	グルホシネート及びグルホシネートPを含む農薬の総使用回数
びわ	－	一年生雑草	収穫 21 日前まで (雑草生育期)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	3 回以内	雑草茎 葉散布	3 回以内
		多年生雑草		500～1000 ml/10a				
キウフルーツ	－	一年生雑草	収穫 21 日前まで (雑草生育期)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	3 回以内	雑草茎 葉散布	3 回以内
		多年生雑草		500～1000 ml/10a				
くり	－	一年生雑草	収穫 30 日前まで (雑草生育期)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	3 回以内	雑草茎 葉散布	3 回以内
		多年生雑草		500～1000 ml/10a				
いちよう (種子)	－	一年生雑草	収穫 14 日前まで (雑草生育期)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	3 回以内	雑草茎 葉散布	3 回以内
		多年生雑草		500～1000 ml/10a				
食用桑 (果実)	－	一年生雑草	収穫 45 日前まで (雑草生育期 春期萌芽 前及び夏切り後萌芽前)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	3 回以内	雑草茎 葉散布	3 回以内
		多年生雑草		500～1000 ml/10a				
さんしょう (果実)	－	一年生雑草	収穫 7 日前まで (雑草生育期)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	2 回以内	雑草茎 葉散布	2 回以内
		多年生雑草		500～1000 ml/10a				
そば	－	一年生雑草	は種前(雑草生育期)	300～ 500ml/10a	100～150 L/10a	3 回以内	雑草茎 葉散布	3 回以内
豆類(種実)	－	一年生雑草	収穫 28 日前まで (雑草生育期 は種・定植 前又は畦間処理)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	3 回以内	雑草茎 葉散布	3 回以内
豆類(未成熟、ただし、 えだまめを除く)	－	一年生雑草	収穫前日まで (雑草生育期 は種・定植 前又は畦間処理)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	3 回以内	雑草茎 葉散布	3 回以内
えだまめ	－	一年生雑草	収穫 14 日前まで (雑草生育期 は種・定植 前又は畦間処理)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	3 回以内	雑草茎 葉散布	3 回以内
			収穫 14 日前まで (雑草生育期 株間処理(本薬5 葉期以 降))					

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	薬量	希釈水量	本剤の使用回数	使用方法	グルホシネート及びグリホシネートPを含む農薬の総使用回数
ばれいしょ	－	一年生雑草	雑草生育期 萌芽前処理	100～200 ml/10a	100～150 L/10a	1回	雑草茎 葉散布	3回以内 (萌芽前は1回以内、 萌芽後は2回以内)
			収穫21日前まで (雑草生育期 畦間処理)	300～500 ml/10a		2回以内		
さといも	－	一年生雑草	収穫30日前まで (雑草生育期 植付前又は畦間処理)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	3回以内	雑草茎 葉散布	3回以内
さといも (葉柄)	－	一年生雑草	収穫7日前まで (雑草生育期 植付前又は畦間処理)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	3回以内	雑草茎 葉散布	3回以内
かんしょ	－	一年生雑草	収穫30日前まで (雑草生育期 挿苗前又は畦間処理)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	2回以内	雑草茎 葉散布	2回以内
ごぼう	－	一年生雑草	収穫前日まで (雑草生育期 は種前又は畦間処理)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	2回以内	雑草茎 葉散布	2回以内
しょうが	－	一年生雑草	収穫前日まで (雑草生育期 植付前又は畦間処理)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	3回以内	雑草茎 葉散布	3回以内
葉しょうが	－	一年生雑草	収穫14日前まで (雑草生育期 植付前又は畦間処理)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	2回以内	雑草茎 葉散布	2回以内
だいこん	－	一年生雑草	収穫45日前まで (雑草生育期畦間処理)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	2回以内	雑草茎 葉散布	2回以内
はつかだい こん		一年生雑草	収穫7日前まで (雑草生育期 は種前又は畦間処理)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	2回以内	雑草茎 葉散布	2回以内
やまのいも	－	一年生雑草	収穫30日前まで (雑草生育期 萌芽前又は畦間処理)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	3回以内	雑草茎 葉散布	3回以内
ピーマン	－	一年生雑草	収穫前日まで (雑草生育期 定植前又は畦間処理)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	3回以内	雑草茎 葉散布	3回以内
なす	－	一年生雑草	収穫前日まで (雑草生育期 定植前又は畦間処理)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	3回以内	雑草茎 葉散布	3回以内
トマト	－	一年生雑草	収穫前日まで (雑草生育期 定植前又は畦間処理)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	3回以内	雑草茎 葉散布	3回以内
ミニトマト	－	一年生雑草	収穫前日まで (雑草生育期 定植前又は畦間処理)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	3回以内	雑草茎 葉散布	3回以内

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	薬量	希釈水量	本剤の使用回数	使用方法	グルホシネート及びグルホシネートPを含む農薬の総使用回数
きゅうり	-	一年生雑草	収穫前日まで (雑草生育期 定植前又は畦間処理)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内
とうがらし類	-	一年生雑草	収穫前日まで (雑草生育期 定植前又は畦間処理)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内
メロン	-	一年生雑草	収穫30日前まで (雑草生育期 定植前又は畦間処理)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	2回以内	雑草茎葉散布	2回以内
レタス	-	一年生雑草	収穫30日前まで (雑草生育期 定植前又は畦間処理)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	2回以内	雑草茎葉散布	2回以内
非結球レタス	-	一年生雑草	収穫30日前まで (雑草生育期 定植前又は畦間処理)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	2回以内	雑草茎葉散布	2回以内
はくさい	-	一年生雑草	収穫45日前まで (雑草生育期は種・定植前又は畦間処理)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	2回以内	雑草茎葉散布	2回以内
キャベツ	-	一年生雑草	収穫45日前まで (雑草生育期 定植前又は畦間処理)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	2回以内	雑草茎葉散布	2回以内
たまねぎ	-	一年生雑草	収穫7日前まで (雑草生育期 定植前又は畦間処理)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	2回以内	雑草茎葉散布	2回以内
にんにく	-	一年生雑草	収穫前日まで (雑草生育期 萌芽前又は畦間処理)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	2回以内	雑草茎葉散布	2回以内
にら	-	一年生雑草	収穫前日まで (雑草生育期 畦間処理)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	2回以内	雑草茎葉散布	3回以内
ねぎ	-	一年生雑草	収穫前日まで (雑草生育期 定植前又は畦間処理)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	2回以内	雑草茎葉散布	2回以内
すいか	-	一年生雑草	収穫前日まで (雑草生育期 定植前又は畦間処理)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	2回以内	雑草茎葉散布	2回以内
ブロッコリー	-	一年生雑草	収穫前日まで (雑草生育期 定植前又は畦間処理)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	2回以内	雑草茎葉散布	2回以内

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	薬量	希釈水量	本剤の使用回数	使用方法	グルホシネート及びグ ルホシネートPを含む 農薬の総使用回数
アスパラガス	－	一年生雑草	萌芽前 (雑草生育期)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	2回以内	雑草茎 葉散布	2回以内
			収穫前日まで (雑草生育期 畦間処理)					
		一年生雑草 及び多年生 広葉雑草	収穫打切り後 (雑草生育期)	500 ml/10a				
にんじん	－	一年生雑草	収穫7日前まで (雑草生育期 は種前又 は畦間処理)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	3回以内	雑草茎 葉散布	3回以内
ほうれんそ う	－	一年生雑草	収穫7日前まで (雑草生育期 は種前又 は畦間処理)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	2回以内	雑草茎 葉散布	2回以内
ズッキーニ	－	一年生雑草	収穫前日まで (雑草生育期 定植前又 は畦間処理)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	2回以内	雑草茎 葉散布	3回以内
とうがん	－	一年生雑草	定植前 (雑草生育期)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	3回以内	雑草茎 葉散布	3回以内
			収穫前日まで (雑草生育期 畦間処理)			2回以内		
にがうり	－	一年生雑草	収穫前日まで (雑草生育期 定植前又 は畦間処理)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	2回以内	雑草茎 葉散布	3回以内
いちご	－	一年生雑草	収穫前日まで (雑草生育期 定植前又 は畦間処理)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	3回以内	雑草茎 葉散布	3回以内
かぼちゃ	－	一年生雑草	収穫30日前まで (雑草生育期 は種・定植 前又は畦間処理)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	2回以内	雑草茎 葉散布	2回以内
たかな	－	一年生雑草	収穫7日前まで (雑草生育期 は種・定植 前又は畦間処理)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	2回以内	雑草茎 葉散布	2回以内
しそ	－	一年生雑草	収穫14日前まで (雑草生育期 畦間処理)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	2回以内	雑草茎 葉散布	2回以内
みょうが (花穂)	－	一年生雑草	収穫14日前まで (雑草生育期 萌芽前又 は畦間処理)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	2回以内	雑草茎 葉散布	2回以内

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	薬量	希釈水量	本剤の使用回数	使用方法	グルホシネート及びグルホシネートPを含む農薬の総使用回数
みょうが(茎葉)	－	一年生雑草	みょうが(花穂)の収穫14日前まで ただし、花穂を収穫しない場合にあっては開花期終了まで (雑草生育期 萌芽前又は畦間処理)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	2回以内	雑草茎葉散布	2回以内
ぎぼうし	－	一年生雑草	収穫90日前まで (雑草生育期 畦間処理)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内
かのこそう	－	一年生雑草	収穫14日前まで (雑草生育期 定植前又は畦間処理)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	2回以内	雑草茎葉散布	2回以内
甘草	－	一年生雑草	収穫14日前まで (雑草生育期 定植前又は畦間処理)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	9回以内 (1年間に3回以内)	雑草茎葉散布	9回以内 (1年間に3回以内)
小麦	－	一年生雑草	耕起又はは種前 (雑草生育期)	300～500 mL/10a	100～150 L/10a	1回	雑草茎葉散布	4回以内 (は種後は3回以内)
	圃場内の周縁部		収穫7日前まで (雑草生育期)			3回以内		
大麦	－	一年生雑草	耕起又はは種前 (雑草生育期)	300～500 mL/10a	100～150 L/10a	1回	雑草茎葉散布	4回以内 (は種後は3回以内)
	圃場内の周縁部		収穫7日前まで (雑草生育期)			3回以内		
ごま	－	一年生雑草	は種又は定植9日前まで (雑草生育期)	500ml/10a	100L/10a	1回	雑草茎葉散布	3回以内 (は種又は定植後は2回以内)
			収穫21日前まで (雑草生育期 畦間処理)			2回以内		
ホップ	－	一年生雑草	収穫3日前まで (雑草生育期 畦間処理)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内
さとうきび	－	サトイハ	耕起又は植付7日前まで (雑草生育期)	300～1000mL/10a	100 L/10a	1回	雑草茎葉散布	4回以内 (植付後は3回以内)
	収穫14日前まで (雑草生育期畦間処理)		3回以内					
	圃場内の周縁部					収穫14日前まで (雑草生育期)		
茶	－	一年生雑草	摘採7日前まで (雑草生育期 畦間処理)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	2回以内	雑草茎葉散布	2回以内

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	薬量	希釈水量	本剤の使用回数	使用方法	グルホシネート及びグルホシネートPを含む農薬の総使用回数
茶(幼木)	-	一年生雑草	雑草生育期 畦間・株間処理	300ml/10a	100L/10a	2回以内	雑草茎葉散布	2回以内
水田作物	-	一年生雑草	耕起前 (雑草生育期)	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	1回	雑草茎葉散布	1回
水田作物 (水田刈跡)	水田 刈跡	一年生雑草	雑草生育期	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	1回	雑草茎葉散布	1回
水田作物 (水田畦畔)	水田 畦畔	一年生雑草 多年生雑草	収穫7日前まで (雑草生育期)	500～1000 ml/10a	100～150 L/10a	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内
たばこ	-	一年生雑草	雑草生育期 大土寄期 畦面・畦間処理	200～500 ml/10a	100～150 L/10a	1回	雑草茎葉散布	1回
花き類・観 葉植物	-	一年生雑草	雑草生育期 畦間処理	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内
樹木類	-	一年生雑草	雑草生育期	300～500 ml/10a	100～150 L/10a	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内
樹木等	公園、 庭園、 堤とう、駐 車場、 道路、 運動 場、宅 地、の り面、 鉄道等	一年生雑草	雑草生育期	500～1000 ml/10a	100～200 L/10a	3回以内	植栽地 を除く 樹木等 の周辺 地に雑 草茎葉 散布	3回以内
		多年生雑草		1000～2000 ml/10a				

使用上の注意事項

- (1) 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- (2) 散布直後の降雨は、効果を減ずるので、天候をよく見きわめてから散布すること。
- (3) 本剤は雑草の生育期に有効であるが、雑草が大きくなりすぎると効果が劣るので、草丈30cm程度を目安に時期を失しないように、薬液が雑草全体によく付着するようにていねいに散布すること。
- (4) 植物に薬液が付着すると薬害を生じるので散布液が付近の農作物、樹木の茎葉に飛散しないように散布すること。特に野菜類の生育期畦間散布で使用する場合は作物にかからないように十分注意して散布すること。
- (5) えだまめの畦間・株間処理に使用する場合は、噴口はできるだけ低くし、本葉にかからないように散布すること。
- (6) 茶(幼木)に使用するときは樹高30cm以上、雑草の草丈20cm以下で処理すること。処理当年には摘採しないこと。薬液が付着した茶葉には黄化、褐変、落葉などの症状を生じることがあるので、噴口を低くして芽や新葉にかからないように注意して散布すること。
- (7) アスパラガスの立茎栽培で使用する場合は、萌芽している若茎に薬害を生じるおそれがあるので、散布後新たに萌芽した若茎を用いて立茎することが望ましい。
- (8) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- (9) 散布液を調製した容器及び散布器具は使用後十分に洗っておくこと。
- (10) 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は環境に影響を与えないよう適切に処理すること。
- (11) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意すること。特に適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する

ること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

- (1) 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- (2) 散布直後の降雨は、効果を減ずるので、天候をよく見きわめてから散布すること。
- (3) 本剤は雑草の生育期に有効であるが、雑草が大きくなりすぎると効果が劣るので、草丈 30cm 程度を目安に時期を失しないように、薬液が雑草全体によく付着するようにていねいに散布すること。
- (4) 植物に薬液が付着すると薬害を生じるので散布液が付近の農作物、樹木の茎葉に飛散しないように散布すること。特に野菜類の生育期畦間散布で使用する場合は作物にかからないように十分注意して散布すること。
- (5) 茶（幼木）に使用するときは樹高 30 cm 以上、雑草の草丈 20 cm 以下で処理すること。処理当年には摘採しないこと。薬液が付着した茶葉には黄化、褐変、落葉などの症状を生じることがあるので、噴口を低くして芽や新葉にかからないように注意して散布すること。
- (6) アスパラガスの立茎栽培で使用する場合は、萌芽している若茎に薬害を生じるおそれがあるので、散布後新たに萌芽した若茎を用いて立茎することが望ましい。
- (7) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- (8) 散布液を調製した容器及び散布器具は使用后十分に洗っておくこと。
- (9) 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は環境に影響を与えないよう適切に処理すること。
- (10) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意すること。特に適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法

- (1) 原液は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。
眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- (2) 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。
付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- (3) 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。
作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換すること。作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- (4) かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- (5) 公園、堤とう等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。
- (6) 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管すること。

水産動植物に有毒な農薬については、その旨

水産動植物（魚類）に影響を及ぼす恐れがあるので、養魚田周辺での使用には注意すること。

引火し、爆発し、又は皮膚を害する等の危険のある農薬については、その旨

通常的使用方法ではその該当がない。

貯蔵上の注意事項

直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管すること。